

報道関係各位

株 式 会 社 U B I C
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
東 京 都 港 区 港 南 2 - 1 2 - 2 3
(コード番号: 2158東証マザーズ)**国際カードブランド5社が設立した PCI SSC から
子会社がフォレンジック調査機関として国内初の正式承認**

～日本企業として初めての承認、日本人の専門スタッフによるサービス開始～

株式会社 UBIC(本社:東京都港区、代表取締役社長:守本 正宏、以下 UBIC)の子会社である Payment Card Forensics 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:野崎 周作、以下 PCF)は、6月27日(米国時間) 国際カードブランドの5社(American Express、Discover、JCB、MasterCard、Visa)が設立した米国PCIセキュリティ基準審議会(PCI Security Standards Council、以下 PCI SSC)から、日本企業として初めて、アジア太平洋地域で活動するペイメントカードの情報漏えい事件のフォレンジック調査機関(PCI Forensic Investigators、以下 PFIs)として承認を受けました。PCF社は、ペイメントカード専門のフォレンジック機関として、情報漏えい事件のフォレンジック調査から事故時点における PCI DSS[*1]アセスメント(評価)までワンストップで提供いたします。

ペイメントカード情報漏えい事件対応の重要性

近年、インターネットにおける取引においてクレジットカードなどペイメントカードの利用が一般化する中、個人情報の漏えい事件や、他人のクレジットカードの不正使用に関わる事件はグローバル、国内とも年々増加し、かつ複雑化してきております。これらの事件に関わる原因究明調査、中でもコンピュータに記録された電子的記録を詳細に解析し、原因を明確にするコンピュータフォレンジックの必要性も年々増加しています。併せて原因究明後、漏えい事件を発生させた企業がクレジットカードの取引を再開するために再発防止策が正しく施されたかの評価の重要性も高まってきています。

5社の国際カードブランドに対応するフォレンジック調査

これまで、ペイメントカード情報漏えい事件に対応するフォレンジック調査機関は、国際カードブランド毎に個別に承認されてきました。その承認が、2011年3月より国際カードブランド5社によって設立された PCI SSC に移管され、ペイメントカードの会員データの漏えい事件のフォレンジック調査は、PCI SSC に承認された PFIs が実施することになりました。これにより PCF は 5 社ブランド共通のフォレンジック調査サービスの提供が可能になりました。これまで PCF は PCI SSC から QSAs[*2]として承認されておりましたが、この度の PFIs の承認により、フォレンジック調査の結果と事故が発生した時点での PCI DSS との適合性報告、事後対策が正しく施されたかの評価(アセスメント)をワンストップで提供可能となります。

コンピュータフォレンジック(電子証拠調査)のパイオニアである株式会社 UBIC と、クレジットカードのデータセキュリティ基準の監査において多数実績を持つ国際マネジメントシステム認証機構株式会社の合併会社である PCF は、本日より日本国内にとどまらずアジア全域を対象に、早期解決に向けた調査から再発防止に向けたコンサルティング・評価に至るまで日本人の専門スタッフによるワンストップソリューションを提供致します。

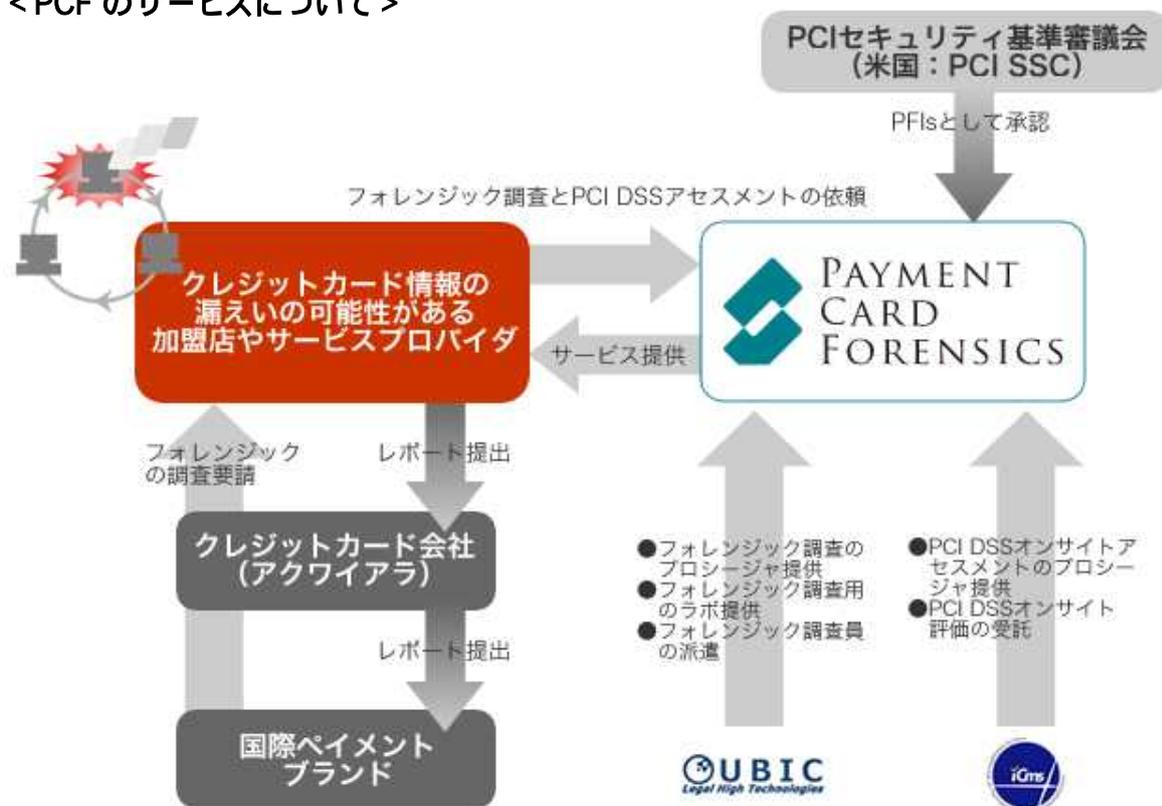
***1) PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard)**

PCI DSS とは、加盟店やサービスプロバイダにおいて、カード会員データを安全に取り扱う事を目的として策定された、ペイメントカード業界における国際データセキュリティ基準です。国際カードブランド5社(American Express、Discover、JCB、MasterCard、VISA)が共同で設立した PCI SSC(Payment Card Industry Security Standards Council)によって発行、管理されています。

***2) QSAs (Qualified Security Assessors : 認定セキュリティ評価機関)**

QSAs とは、PCI SSC に認定されたセキュリティ監査企業です。クレジットカード情報を取り扱う加盟店やサービスプロバイダが保有するシステムの OS やアプリケーションの設定が PCI DSS が定める 16 の要件に対応しているかを監査する機関

< PCF のサービスについて >



【PCF について】

代表取締役社長:野崎 周作 東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル 8 階

URL: <http://www.pcf.co.jp/>

Payment Card Forensics 株式会社は、コンピュータフォレンジック (電子証拠調査) のパイオニアである株式会社 UBIC とクレジットカードのデータセキュリティ基準 PCI DSS のオンサイト監査において多数実績を持つ国際マネジメントシステム認証機構株式会社による、クレジットカード専門のフォレンジック調査および評価 (アセスメント) を目的とする合弁会社です。

米国 PCI セキュリティ基準審議会 (PCI SSC) より認定フォレンジック調査機関 (PFIs: PCI Forensic Investigators) と認定セキュリティ評価機関 (QSAs) [*2] として承認されております。

2010 年 8 月 17 日設立。資本金 20,000,000 円 (2011 年 6 月 30 日現在)。

【UBIC について】

代表取締役社長: 守本 正宏 東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル 7 階

URL: <http://www.ubic.co.jp/>

株式会社 UBIC は、電子データ中心の調査を行なうコンピュータフォレンジック調査サービスや、法的紛争・訴訟の際に電子データの証拠保全及び調査・分析を行う国際訴訟対策支援(ディスカバリー支援サービス)を提供する、リーガルハイテクノロジー総合企業。アジア言語対応能力では世界最高水準の技術と、アジア圏最大の処理能力を有するラボを保有。2007 年 12 月米国子会社を設立。アジア・米国双方からアジア企業関連の訴訟支援を実施。2009 年末からは自社で開発した企業内でも国際訴訟における電子証拠開示が可能な電子証拠開示支援システム「Lit i View」(リット・アイ・ビュー)の販売を開始。

2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。資本金 496,843,750 円 (2011 年 6 月 30 日現在)。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社 UBIC 営業部 TEL: 03-5463-7577 FAX: 03-5463-7578